



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年11月10日

上場会社名 ケミプロ化成株式会社 上場取引所 東
コード番号 4960 URL <https://www.chemipro.co.jp/>
代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）兼俊 寿志
問合せ先責任者 （役職名）財務経理部長 （氏名）徳地 昭博 TEL 078 (393) 2524
半期報告書提出予定日 2025年11月13日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	4,357	△14.1	104	△41.7	△16	—	3	△91.2
2025年3月期中間期	5,071	16.5	179	△14.9	47	△37.8	38	△45.1

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	0.21	—
2025年3月期中間期	2.38	—

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期中間期	12,453	4,794	38.5	297.56
2025年3月期	13,297	4,777	35.9	297.43

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 4,794百万円 2025年3月期 4,777百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	3.50	3.50
2026年3月期	—	0.00			
2026年3月期（予想）			—	5.00	5.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,500	8.1	600	49.2	400	130.4	250	95.2	15.56

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期中間期	16,623,613株	2025年3月期	16,623,613株
② 期末自己株式数	2026年3月期中間期	510,552株	2025年3月期	561,596株
③ 期中平均株式数（中間期）	2026年3月期中間期	16,080,985株	2025年3月期中間期	15,984,742株

- (注) 1. 期末自己株式には、信託が保有する当社株式（2026年3月期中間期510,483株）を加算しております。
2. 期中平均株式数（中間期）は、自己名義所有株式分を控除する他、信託が保有する自己株式（2026年3月期中間期542,559株）を控除して算定しております。

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

業績予想の前提となる仮定等については、添付資料P3「1.経営成績等の概況（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間貸借対照表	4
(2) 中間損益計算書	6
(3) 中間財務諸表に関する注記事項	7
(セグメント情報等の注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間会計期間における世界経済は、米国による相互関税が発動され、一部の国で対抗措置の可能性が示唆されるなど、先行き不透明感がより一層強くなる中、米国経済は、引き続き底堅く推移しましたが、欧州及び中国経済は依然として低成長が続いており、わが国経済についても顕著な回復の動きはみられず、加えて、地政学的リスクの長期化、中東情勢の一層の緊迫化により、全体として非常に不安定な状況で推移しました。

このような経済環境の中で、当社の属するファインケミカル業界につきましては、需要は昨年度後半からの低迷が依然として続き、また、地域ごとでの需要格差がより顕著になりました。また、原材料価格やエネルギーコストは依然として高い水準が続き、利益面でも厳しい状況で推移しました。当社においては、拡販及び価格転嫁に努めて参りましたが、特に主力製品の販売が極めて低調であり、売上・利益両面で大幅な減収減益となりました。

具体的な当中間会計期間における当社の売上高は、化学品事業では、製紙用薬剤は拡販効果により増収となったものの、紫外線吸収剤は、昨年度後半からの需要減速が継続し、特に、第2四半期において販売減速が顕著となり、大幅な減収となりました。また、その他の製品分野でも販売強化に努めたものの売上は伸び悩み、事業全体として減収となりました。ホーム産業事業では、各種製品の拡販に努めたものの、工事受注の減少に伴う減収が影響し前年同期を下回りました。これらにより売上高全体では、前年同期比714百万円減の4,357百万円(前年同期比14.1%減)で着地いたしました。利益面では、売上高の大幅な減収が影響し、営業利益は104百万円(同41.7%減)となりました。経常損益については、受託製造製品の新たな獲得もあり工場の稼働状況が改善し、生産休止費用が、前年同期と比較し21百万円減となる85百万円の計上に抑制したものの、金利・為替変動等の影響もあり、経常損失16百万円(前年同期は経常利益47百万円)となりました。税引前中間純利益については、特別利益として保険解約返戻金41百万円を計上したことから24百万円(前年同期比47.7%減)となりました。中間純利益については、法人税、住民税及び事業税が12百万円、法人税等調整額が8百万円となり3百万円(同91.2%減)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

(化学品事業)

当中間会計期間の売上高は、主力製品である紫外線吸収剤が前年同期比558百万円減の2,048百万円(前年同期比21.4%減)となった他、受託製造製品が同95百万円減の988百万円(同8.8%減)、酸化防止剤が同35百万円減の474百万円(同7.0%減)、写真薬中間体が同34百万円減の90百万円(同27.5%減)となる一方で、製紙用薬剤が同24百万円増の172百万円(同16.6%増)、となり、全体では同705百万円減の3,818百万円(同15.6%減)となりました。

(ホーム産業事業)

当中間会計期間の売上高は、木材保存薬剤の売上高が前年同期比17百万円増の441百万円(前年同期比4.0%増)となる一方で、その他が同26百万円減の97百万円(同21.1%減)となり、全体では同9百万円減の539百万円(同1.7%減)となりました。

(品目別販売実績)

(単位：千円，%)

セグメント別	期別 区分	前中間会計期間 2025年3月期		当中間会計期間 2026年3月期		増減
		金額	構成比	金額	構成比	金額
化学品事業	紫外線吸収剤	2,607,015	51.4	2,048,978	47.0	△558,037
	写真薬中間体	124,464	2.5	90,273	2.1	△34,190
	製紙用薬剤	148,232	2.9	172,808	4.0	24,576
	酸化防止剤	509,879	10.1	474,233	10.9	△35,645
	電子材料	18,863	0.4	18,537	0.4	△325
	受託製造製品	1,083,426	21.4	988,352	22.7	△95,074
	その他	31,509	0.6	25,092	0.6	△6,417
	(小計)	4,523,391	89.2	3,818,276	87.6	△705,114
ホーム産業事業	木材保存薬剤	424,670	8.4	441,718	10.1	17,047
	その他	123,891	2.4	97,760	2.2	△26,131
	(小計)	548,562	10.8	539,478	12.4	△9,083
合 計		5,071,953	100.0	4,357,755	100.0	△714,198

(注) 金額は、消費税等を含んでおりません。

(2) 当中間期の財政状態の概況

(資産、負債及び純資産の状況)

当中間会計期間末の総資産は、前事業年度末(以下「前期末」という。)比844百万円減少し、12,453百万円となりました。流動資産は同914百万円減の7,133百万円、固定資産は同70百万円増の5,320百万円となりました。

流動資産の減少の主な要因は、現金及び預金が504百万円、受取手形及び売掛金が435百万円、それぞれ減少した一方で、商品及び製品が311百万円増加したことなどによるものであり、固定資産の増加の主な要因は、有形固定資産のその他(純額)が36百万円、ソフトウェアが21百万円、ソフトウェア仮勘定が29百万円、投資有価証券が87百万円それぞれ増加した一方で、投資その他の資産のその他が93百万円減少したことなどによるものであります。

当中間会計期間末の負債は、前期末比861百万円減少し、7,659百万円となりました。流動負債は同506百万円減の5,500百万円、固定負債は同354百万円減の2,158百万円となりました。

流動負債の減少の主な要因は、支払手形及び買掛金が125百万円、短期借入金が136百万円、1年内返済予定の長期借入金が108百万円、流動負債のその他が198百万円それぞれ減少した一方で、電子記録債務が74百万円増加したことなどによるものであり、固定負債の減少の主な要因は、長期借入金が390百万円減少したことなどによるものであります。

当中間会計期間末の純資産は、前期末比17百万円増加し4,794百万円となりました。純資産の増加の主な要因は、中間純利益を3百万円計上したこと、その他有価証券評価差額金が59百万円増加した一方で、配当金の支払58百万円があったこと、自己株式が12百万円減少したことなどによるものであります。この結果、自己資本比率は38.5%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

世界経済は、米国による相互関税が発動されたことにより、今後、経済環境に様々な変化が生じ、その影響等から、先行きの見通しも極めて難しい状況が続いていくものと想定されます。また、物価をはじめとする各種コストについても、高騰もしくは高止まりの動きが続くものと思われます。このような状況下、当社を取り巻く事業環境も同様に厳しく、今後の業績に大きく影響が出る可能性があります。

このような中、当中間会計期間の業績は2025年5月9日発表の通期業績予想に対して、低調に推移しております。主要因は主力製品である紫外線吸収剤の需要が大きく落ち込んでいることではありますが、今後、新たな製品の販売展開などを行うことも含め、年度後半の回復を見込んでおります。利益面につきましても、減収の影響を大きく受けておりますが、年度後半にかけ、長年続いてきた各種コスト高騰に対する製品価格の適正化、原材料をはじめとする各種コストの低減、新規製品販売による利益獲得見込みも含めて、今後の改善を見込んでおります。

これらを踏まえ、現段階では通期業績予想の修正はいたしません。引き続き慎重に業績の進捗を判断し、適時に見直して参る計画であります。業績予想の修正を決定した場合には速やかに開示いたします。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位: 千円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当中間会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,149,036	1,644,210
受取手形及び売掛金	2,200,499	1,764,789
電子記録債権	42,192	60,783
商品及び製品	2,544,383	2,855,509
仕掛品	124,268	72,525
原材料及び貯蔵品	558,927	553,842
その他	428,948	181,812
貸倒引当金	△471	△367
流動資産合計	8,047,786	7,133,105
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	907,963	896,431
土地	2,856,882	2,856,882
その他(純額)	943,746	980,710
有形固定資産合計	4,708,592	4,734,024
無形固定資産		
ソフトウェア	845	22,061
ソフトウェア仮勘定	91,000	120,532
その他	7,979	7,979
無形固定資産合計	99,825	150,573
投資その他の資産		
投資有価証券	254,891	342,458
その他	200,899	107,391
貸倒引当金	△14,184	△14,004
投資その他の資産合計	441,606	435,845
固定資産合計	5,250,024	5,320,444
資産合計	13,297,811	12,453,549

(単位: 千円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当中間会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,014,695	889,068
電子記録債務	499,980	574,187
短期借入金	2,550,000	2,414,000
1年内返済予定の長期借入金	952,500	843,750
未払法人税等	44,796	28,376
賞与引当金	93,477	98,299
その他	851,862	652,915
流動負債合計	6,007,312	5,500,597
固定負債		
長期借入金	1,682,500	1,292,500
退職給付引当金	572,189	592,552
役員株式給付引当金	9,950	3,571
従業員株式給付引当金	5,389	9,003
その他	243,179	260,790
固定負債合計	2,513,207	2,158,417
負債合計	8,520,519	7,659,015
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,155,352	2,155,352
資本剰余金	1,060,713	1,060,713
利益剰余金	1,595,938	1,541,120
自己株式	△186,934	△174,305
株主資本合計	4,625,070	4,582,881
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	152,220	211,652
評価・換算差額等合計	152,220	211,652
純資産合計	4,777,291	4,794,534
負債純資産合計	13,297,811	12,453,549

(2) 中間損益計算書

(単位: 千円)

	前中間会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	5,071,953	4,357,755
売上原価	4,352,971	3,712,802
売上総利益	718,982	644,953
販売費及び一般管理費	539,015	540,068
営業利益	179,967	104,884
営業外収益		
受取利息	49	590
受取配当金	4,339	4,186
受取賃貸料	3,600	3,600
為替差益	4,592	—
その他	3,317	2,136
営業外収益合計	15,899	10,513
営業外費用		
支払利息	35,093	40,882
生産休止費用	107,342	85,343
賃貸収入原価	229	229
その他	5,444	5,886
営業外費用合計	148,110	132,342
経常利益又は経常損失(△)	47,757	△16,944
特別利益		
保険解約返戻金	—	41,933
特別利益合計	—	41,933
税引前中間純利益	47,757	24,988
法人税、住民税及び事業税	21,973	12,688
法人税等調整額	△12,333	8,935
法人税等合計	9,640	21,624
中間純利益	38,117	3,364

(3) 中間財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間会計期間(自2024年4月1日 至2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報
(単位: 千円)

	報告セグメント		合計
	化学品事業	ホーム産業事業	
売上高			
紫外線吸収剤	2,607,015	—	2,607,015
写真薬中間体	124,464	—	124,464
製紙用薬剤	148,232	—	148,232
酸化防止剤	509,879	—	509,879
電子材料	18,863	—	18,863
受託製造製品	1,083,426	—	1,083,426
木材保存薬剤	—	424,670	424,670
その他	31,509	123,891	155,401
顧客との契約から生じる収益	4,523,391	548,562	5,071,953
外部顧客への売上高	4,523,391	548,562	5,071,953
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	4,523,391	548,562	5,071,953
セグメント利益	380,763	27,890	408,653

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位: 千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	408,653
全社費用(注)	△228,685
中間損益計算書の営業利益	179,967

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ 当中間会計期間(自2025年4月1日 至2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 千円)

	報告セグメント		合計
	化学品事業	ホーム産業事業	
売上高			
紫外線吸収剤	2,048,978	—	2,048,978
写真薬中間体	90,273	—	90,273
製紙用薬剤	172,808	—	172,808
酸化防止剤	474,233	—	474,233
電子材料	18,537	—	18,537
受託製造製品	988,352	—	988,352
木材保存薬剤	—	441,718	441,718
その他	25,092	97,760	122,852
顧客との契約から生じる収益	3,818,276	539,478	4,357,755
外部顧客への売上高	3,818,276	539,478	4,357,755
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	3,818,276	539,478	4,357,755
セグメント利益	330,125	22,609	352,735

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位: 千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	352,735
全社費用(注)	△247,850
中間損益計算書の営業利益	104,884

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。